

## 原子力基盤強化作業部会中間整理の概要

平成21年8月27日  
文部科学省 研究開発局  
原子力計画課

### 1. 検討の経緯

- 我が国において基幹電源として原子力利用を維持していくとともに、核燃料サイクルを確立し、長期的には高速増殖炉の実用化を図っていくためには、我が国の原子力基盤の維持・強化が必要であるとの認識のもと、科学技術・学術審議会 研究計画評・評価分科会 原子力分野の研究開発に関する委員会の下に、原子力基盤強化作業部会を設置。
- 本年4月以降7月までの間に、原子力基盤強化作業部会において5回の検討を実施。早期に実現すべき課題について具体化に移すとともに、中期的な課題は引き続き検討を継続することとし、これまでの議論し中間整理として取りまとめ。
- 具体的な施策や検討の方向性を「人材育成」「研究インフラ」「技術移転・産業化」「原子力機構の基盤的機能」の各項目毎に分け、合計で28のActionとして整理。

### 2. 今後の具体的取組について

#### (1) 原子力人材の育成

優秀な原子力人材を継続的に輩出していくために、大学等が実施する研究・教育活動を効果的に支援するとともに、我が国の原子力界全体が連携して人材育成を実施することが必要。

#### ■具体的な取組

##### ＜早急に対応すべき事項＞

- ・ 初等中等教育段階における原子力教育の強化
- ・ 大学レベルの原子力人材育成支援策の強化
- ・ 若手研究者への支援の拡充
- ・ 立地地域における原子力人材育成活動の強化

##### ＜中期的に検討を要する課題＞

- ・ 原子力機構と大学間の抜本的な連携
- ・ 退職者人材の戦略的な有効活用

#### (2) 研究開発インフラ

ユーザーニーズを踏まえた共用の促進や、インフラを活用した産学官連携による共同研究の推進を図るとともに、我が国全体として今後戦略的に必要となる研究開発インフラが如何なるものであるか検討を行い、戦略的な維持・整備を図ることが必要。

## ■具体的な取組

### <早急に対応すべき事項>

- ・既存研究開発インフラの利用状況・ニーズ整理と改善策の検討
- ・役目を終えた施設について計画的な廃止措置の実施
- ・ユーザーの利便性向上と施設の外部利用促進のための取組強化
- ・旧サイクル機構のホットラボ等の戦略的な活用策に関する検討
- ・研究開発インフラ活用促進のためのファンドの拡充
- ・計算機シミュレーション技術の維持・強化

### <中期的に検討を要する課題>

- ・我が国が戦略的に整備すべきインフラについての検討
- ・研究開発施設利用に関する安全確保の合理化への技術的検討
- ・真の意味で外部に開かれた研究開発インフラの活用促進

## (3) 原子力技術の技術移転・産業化

過去の技術移転の状況を教訓として踏まえつつ、技術開発主体、関連メーカ、事業実施主体がより有機的・戦略的な連携を図りながら、円滑かつ戦略的に技術移転・産業化を進めることが必要。

## ■具体的な取組

### <早急に対応すべき事項>

- ・既移転技術に関するフォローアップの強化
- ・今後の技術移転に向けての関係者間の枠組み強化
- ・技術開発段階における適切な知識の集約・伝承の仕組みの強化
- ・卓越したプロジェクトリーダー養成のための環境整備

### <中期的に検討を要する課題>

- ・技術移転・産業化に向けたモデルケースシナリオの提示
- ・技術開発段階からの産業界による評価の強化
- ・技術移転・産業化に伴う組織・人材の適切な移行

## (4) 原子力機構の基盤的機能

産業界や大学等のニーズを汲み取りつつ、我が国の原子力界の中で真に中核となる機関として、原子力機構の組織・体制の改革を図るとともに、高い技術力・インフラ・人材を all-Japan 体制で戦略的に有効活用していくことが重要。

## ■具体的な取組

### <早急に対応すべき事項>

- ・制度上の隘路の整理
- ・総合的マネジメント機能の強化
- ・国際対応機能の強化
- ・旧原研、旧サイクルの融合加速
- ・原子力エネルギー基盤連携センターの強化

### <中期的に検討を要する課題>

- ・日本原子力界の中核としての基盤強化